

腰痛の現在までの経過

20代前半から腰に痛みを感じた。(草野球で準備運動もしないで冬の寒い日にバットの素振りをして、腰に痛みを感じたことを覚えている。)

動くことが好きだったので就職しても職場の草野球を続けていた。休日に運動をして腰が痛くなったが平日に痛みが少なくなるので、また休日に運動をすることを繰り返していた。

40代後半から強い運動をしなくなったが腰の痛みは続いた。しかし、仕事を休むようなことはなかった。通常より痛い時にはマッサージやカイロプラクティック等に通ったこともある。

50歳ごろ一度MRIを国立■■■病院で撮った。その時は椎間板が2カ所減っているが手術するほどではない。経過を見ましようと言われた。

今迄にギックリ腰を4回ほど経験している。

H21年11月からH23年4月まで週1回(隔週もあり)三鷹までハリ治療に通ったが良い結果は得られなかった。

この間のH21年11月に往復100km位のサイクリングに行った。この後から腰の痛みが以前より強くなったようだ。(その後も3回位往復50km位のサイクリングに行った。)

H23年5月から地元の整骨院に毎日通い8月に同院の勧めもありMRIを撮った。(別紙の写しのとおり)

H24年からは1日おきに通院した。治療内容は超音波、レーザー、マイクロ波等である。

H24年1月から両肩が痛くなる。(50肩と言われた。)現在は左の首筋が痛い両肩の痛みはない。

7月、8月に新宿の筋連動整体療法に7回ほど通ったが良い結果は得られなかった。

H25年からは今までの地元の整骨院に週2日通院している。(臀部も痛くなっている。)しかし、通院した帰りは楽になることもあるが元の鈍痛に戻ってしまう。

朝起きる時一番痛みがある。

『医療機関用報告書』

メディカル

画像診断管理医



検査日	2011/08/04
検査ID	
患者名	
年齢・性別	67才 男
生年月日	1944年 生

腰椎MRI

腰椎MRI T1・T2強調矢状断像・横断像、STIR矢状断像、MRミエログラフィーを撮像しました。

矢状断像で、撮像範囲の椎体の配列は正常です。

T2強調矢状断像・横断像では、腰椎L4/5レベルとL5/S1レベルの椎間腔は狭小化しています。また、この椎間の上下の椎体の辺縁は信号上昇しており、逆にT1強調像では信号が低下しています。椎体の変形はありませんが、早期の圧迫骨折を疑う所見と考えます。

椎間腔の狭小化に伴って、椎間板は潰れて膨隆し、後方にも突出して硬膜嚢を圧排しています。椎間板bulgingの所見と考えます。これより頭側では、椎間板の突出はさほどでもありませんが、黄色靭帯の肥厚によって脊柱管は狭窄しています。

以上の所見から、腰部脊柱管狭窄症と考えます。

L4椎体下面には、シュモール結節(+).

【まとめ】

早期圧迫骨折疑い(L4/5、L5/S1レベル)

腰部脊柱管狭窄症

シュモール結節(+)

作成日 2011/08/04

読影医

